

# 安城市内景況調査結果 (平成30年7月～9月)

## < 全産業において依然として人手不足が続く見通し >

1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 103企業

2. 調査対象時期 平成30年7～9月期

(1)前年同期(平成29年7～9月)と比べた今期の状況

(2)今期と比べた来期(平成30年10～12月)の先行き見通し

3. 企業数内訳

	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	計
企業数	26	25	19	33	103
構成比	25.3%	24.3%	18.4%	32.0%	100.0%

安城市内の今期の業況判断DIを詳しく見ると下記の表のとおり、△0.1ポイントとなった。業況判断の前回実績(△15.5)と比較すると15.4ポイントの上昇であった。建設業においては、改善基調が見られるものの、全産業ともに人手不足の状態が続いていく見通しである。

	前年同期比 (前回)	前年同期比 (今回)	来期の 見通し
業況判断	△15.5	△0.1	△4.0
売上高	△14.6	5.9	0
売上単価	△7.7	4.9	7.0
資金繰り	△8.7	△0.9	△4.8
借入難度	△2.0	0	0
収益状況	△27.1	△7.8	△9.8
雇用人員	△42.7	△47.0	△43.0

凡例▶

30以上 10を超える 10～△10 △10を超える △30以上

		全産業									
		製造業		小売・卸業		建設業		サービス業			
前年同期対比	業況判断	△0.1		11.6		△24.0		10.6		3.1	
	売上高	5.9		11.6		△12.0		26.4		3.2	
	売上単価	4.9		△3.9		0		15.8		9.3	
	資金繰り	△0.9		△23.1		△12.0		10.5		△18.8	
	借入難度	0		11.6		△8.0		10.6		△9.4	
	収益状況	△7.8		△3.9		△36.0		21.1		△6.2	
	雇用人員	△47.0		△65.4		△24.0		△73.7		△34.4	
来期の見通し	業況判断	△4.0		7.7		△24.0		31.5		△18.8	
	売上高	0		11.5		△12.0		15.8		△6.3	
	売上単価	7.0		7.7		0		15.8		6.3	
	資金繰り	△4.8		3.8		△16.0		10.5		△12.6	
	借入難度	0		3.8		△8.0		15.7		△6.4	
	収益状況	△9.8		0		△28.0		10.6		△15.7	
	雇用人員	△43.0		△57.7		△16.0		△73.7		△34.4	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。  
 なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。